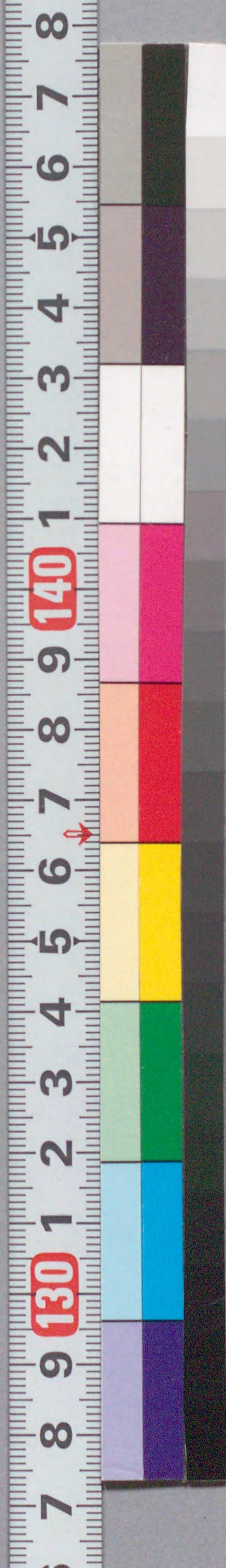


常盤國風土記

207
375

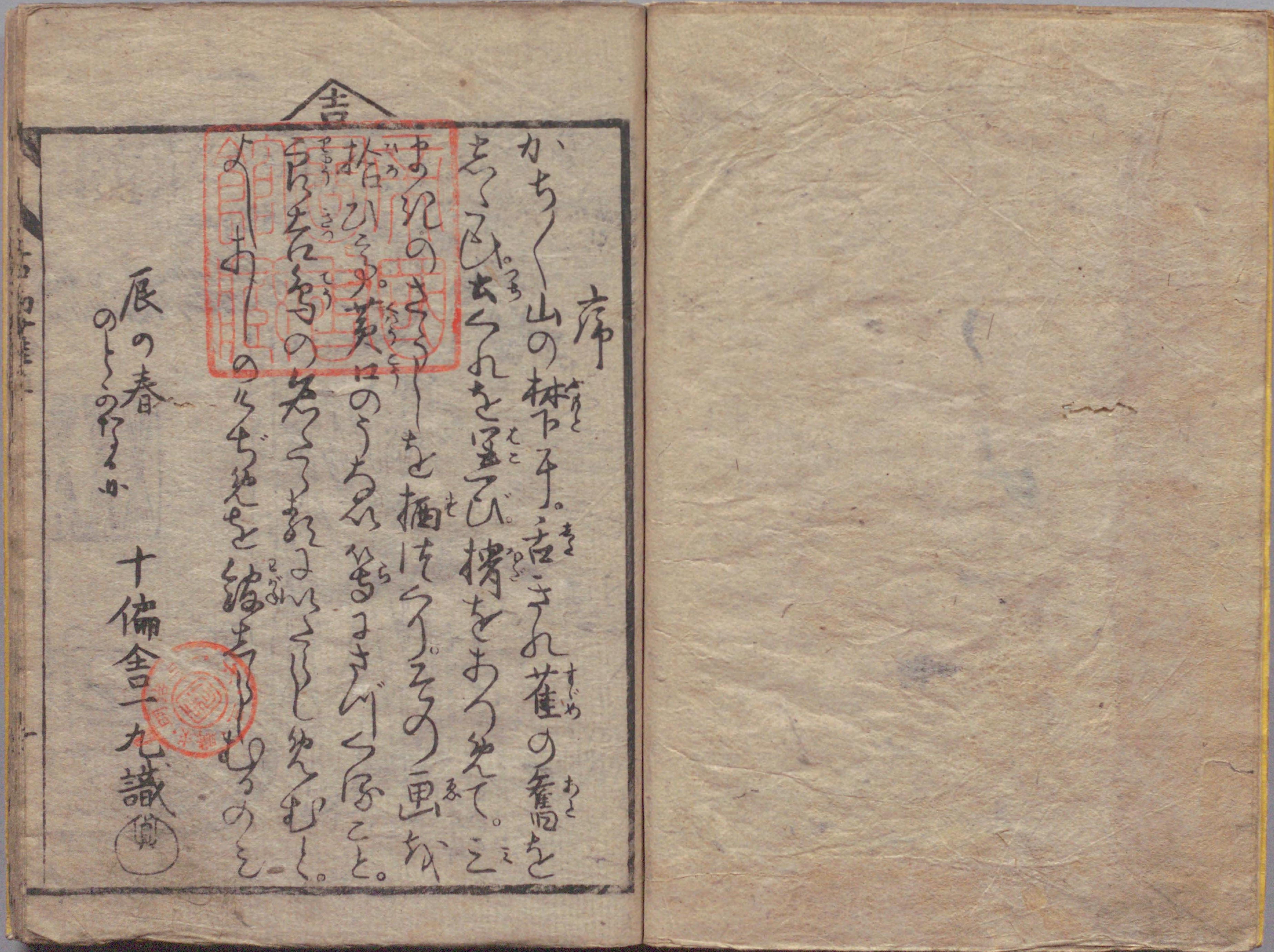


常盤國風土記

上中下

207
375

常盤の



吉

席

かしら山の林下乎。古きされた葎の奮を
 志を区を出しられを望むひを携をあらるをて。こ
 ののまを挿をくをそのの画を
 拾ひひを黄の口のちを等をさをぐを事を
 ちをををのをあをひをしをむを
 よをあをのをちををを結をむをのを

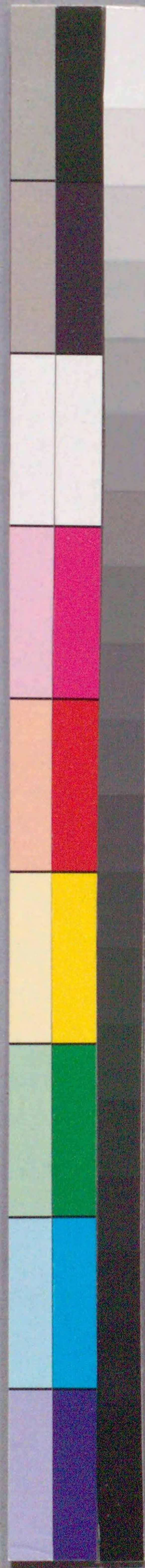
辰の春

十備舎一九識









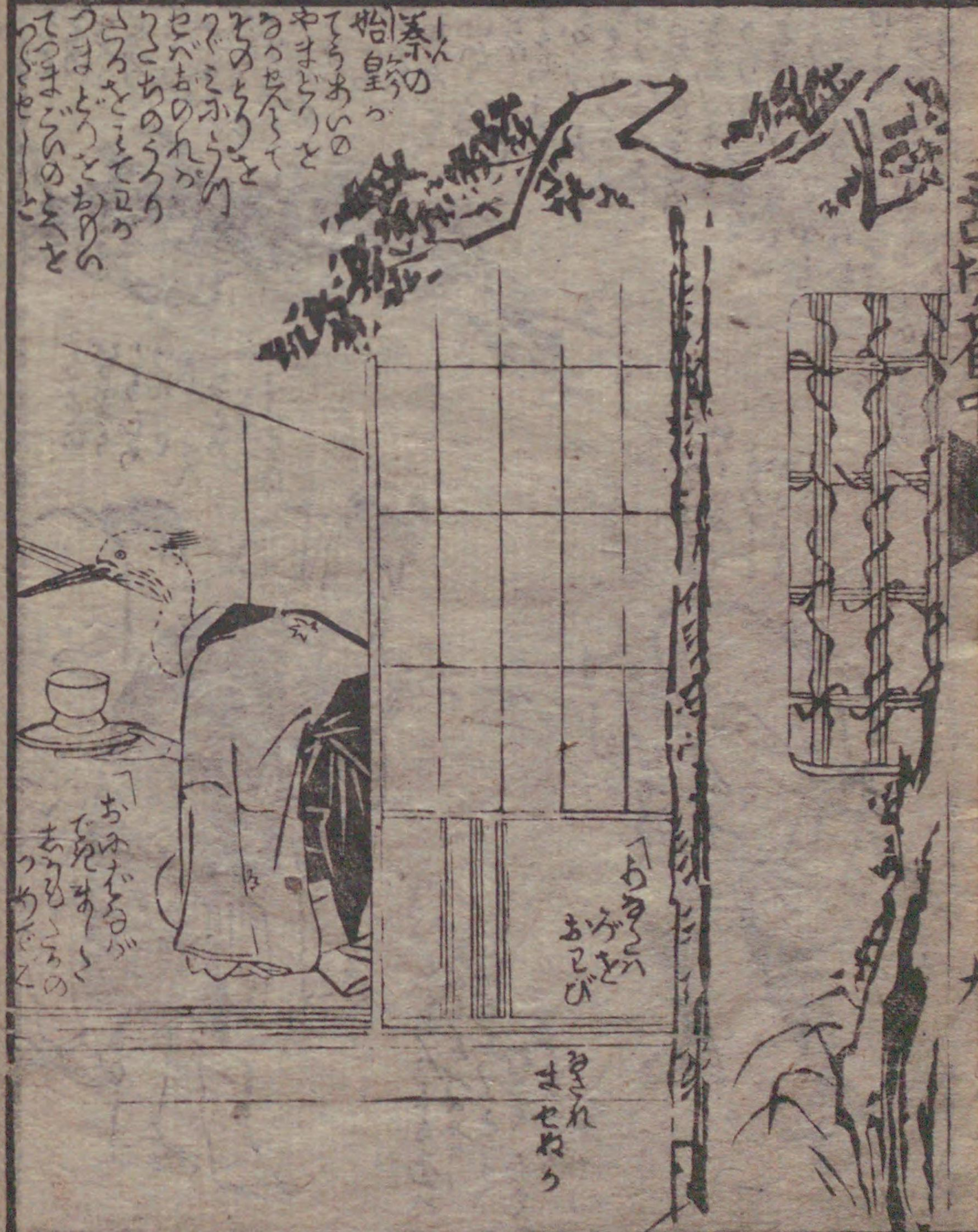
国立国会図書館 常盤国風土記 : 3巻 207-375

ガラス使用

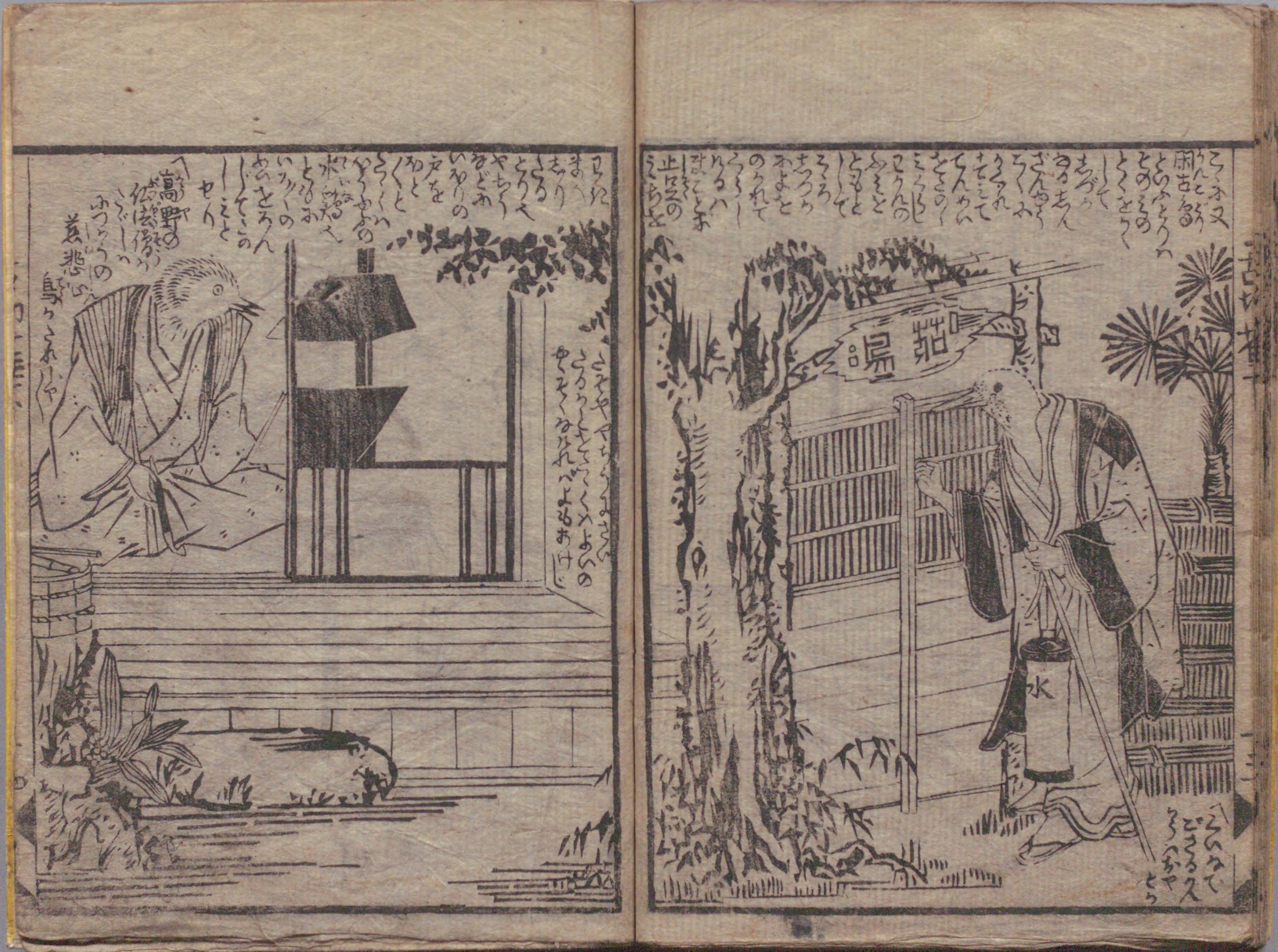
吉









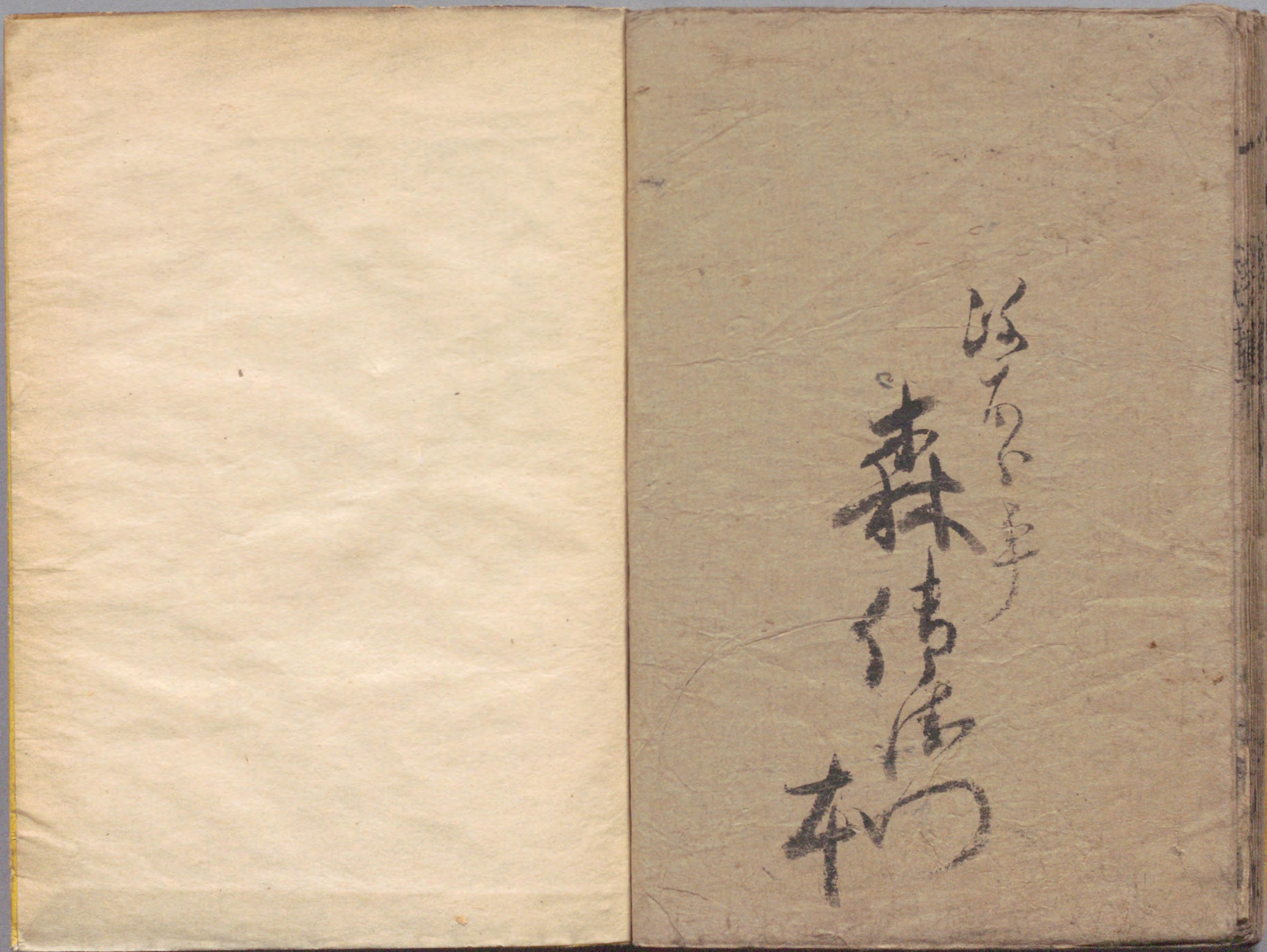
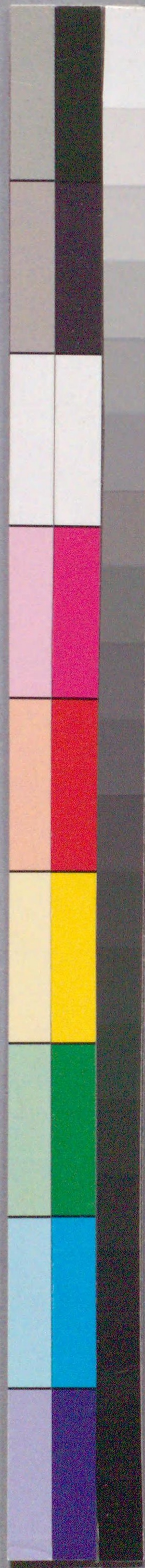


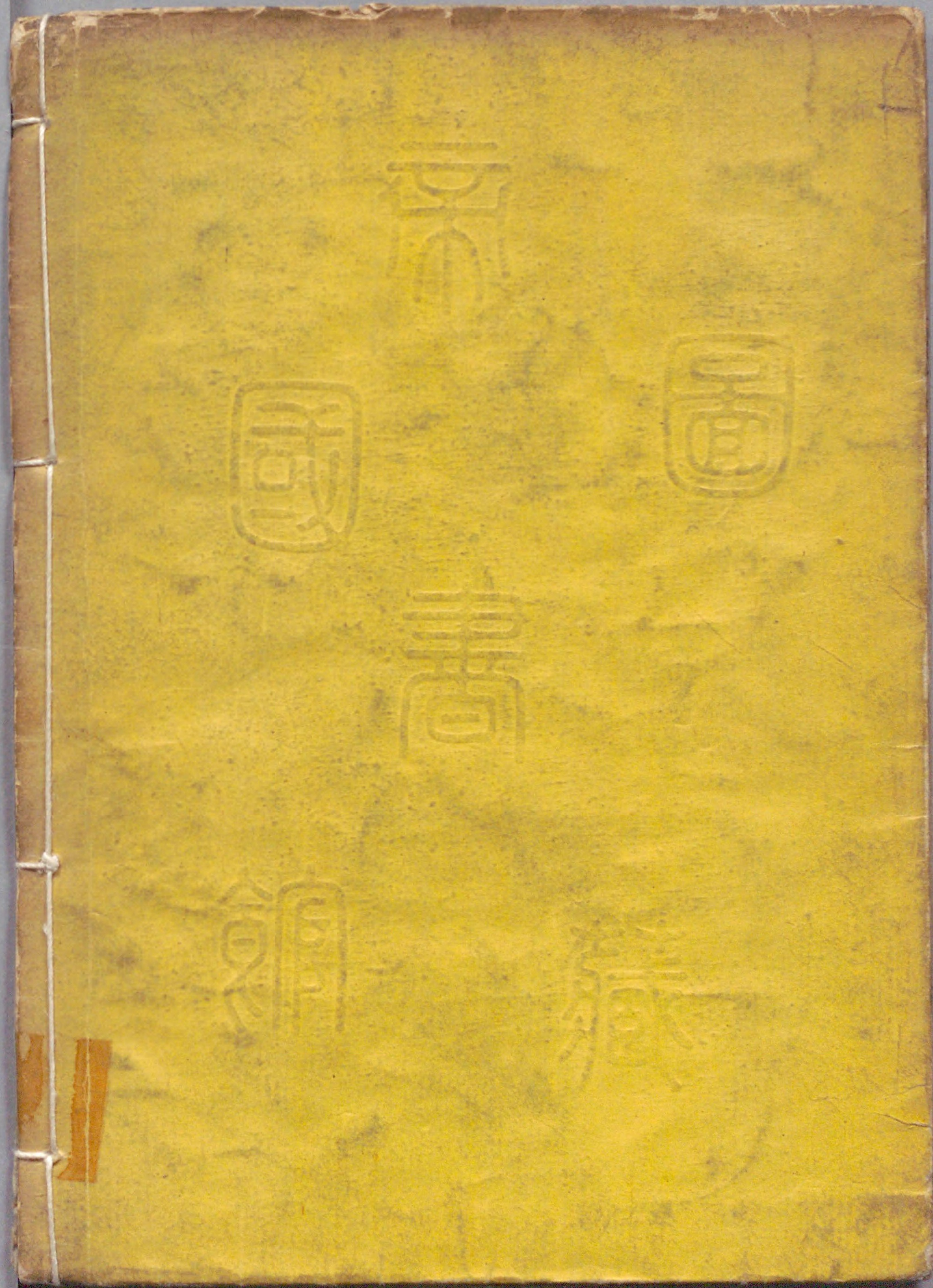
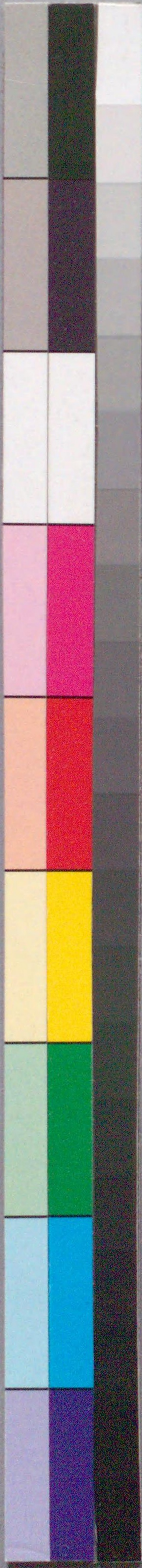
207
375



一九画作







国立国会図書館 常盤国風土記 : 3巻 207-375

ガラス使用